



堀越泰樹会員撮影

会長 完賀 浩光 幹事 栗野 哲雄

- 例会場 L'AUBE kasumigaura  
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30～13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F  
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール [t\\_minami@lapis.plala.or.jp](mailto:t_minami@lapis.plala.or.jp)

2024～2025年度  
国際ロータリーテーマ



2024年10月22日 13号  
2024年10月15日 第3例会報告



地区 HP



地区行事予定

- 点 鐘 完賀浩光会長
- ロータリーソング斉唱  
(奉仕の理想)
- 来賓紹介  
2820地区第6分区ガバナー補佐 清野宏之様  
ガバナー補佐幹事 塚崎雅之様
- 来訪ロータリアン紹介  
2820地区第5分区ガバナー補佐 笠倉 勉様
- 幹事報告 栗野哲雄幹事
- 委員会報告
- ニコニコBOXの発表
- 来賓卓話  
ガバナー公式訪問について  
第6分区ガバナー補佐 清野宏之様  
ガバナー公式訪問スケジュールについて  
栗野哲雄幹事
- 卓 話  
米山月間に因んで  
米山記念奨学生カウンセラー 杉田一男会員
- 出席状況報告 出席委員会
- 点 鐘 完賀浩光会長
- ロータリーソング斉唱  
(四つのテスト)  
(司会進行 吉田正一 S A A)

### 本日のプログラム

大高司郎ガバナー 公式訪問日です。全員参加でお迎え致します。

### 次週のプログラム

10月29日(火)の例会は休会。11月5日(火)の例会は、土浦税務署 署長 小島淳夫様をお迎え致します。

## 出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席率訂正
名	名	名	%	卓	卓	名	%
87	55	5	65.48	2	4・5・7・11・12	13	80.95

## 【来訪ロータリアン紹介】



2820 地区第5分区ガバナー補佐  
笠倉 勉様

## 【委員会報告】

### 会員増強委員会

中山 元章 副委員長

入会推薦の申込書が届いております。

関裕一郎さん (S51. 11. 23)

司法書士 関裕一郎事務所

牛久市南5丁目 19-32

ご意見・ご質問などがある方は、会員増強委員会までお申し出ください。

## 【来賓卓話】

### ガバナー公式訪問について

第6分区ガバナー補佐 清野 宏之 様

本日で9クラブ目となり、最後の訪問となります。

他のクラブも拝見しましたが、人数もおりますし、今までしっかりとやってきたクラブの実績が出ますので、事前訪問についても、あまり心配はしておりません。

大高ガバナーからは、会員増強について、こんなことをしたらどうかといった、かなり厳しいご意見が出ています。皆様にご協力頂き、来週のガバナー公式訪問を無事に迎えられるとよいと思っております。

他のクラブを廻ることで、クラブの規模にかかわらず、素晴らしい運営を行っているクラブがありましたので、大変勉強になりました。今回、この機会を頂いたことを皆さんに感謝し、来週の公式訪問が無事に進むことを祈りまして、挨拶とさせていただきます。

### ガバナー公式訪問スケジュールについて

栗野 哲雄 幹事

当日のスケジュールについては、皆様のレターボックスに「ガバナー公式訪問プログラム」を配布いたしましたので、内容にしっかりと目を通して頂きたいと思っております。会員の皆さんには、時間厳守でお越し頂き、委員長の皆さんにはクラブ協議会での発表を宜しくお願い致します。

## 【卓 話】

### 米山月間に因んで

米山記念奨学学生カウンセラー 杉 田 一 男 会 員



今月は米山記念奨学月間という事で卓話依頼がありましたので話をさせて頂きます。

米山記念奨学事業の概要としまして3つ程あり1つは日本のロータリー独自の事業である事、2つ目は日本で学ぶ外国人留学生を支援するためである事、3つ目は他にない制度として世話クラブがある事、カウンセラー制度で交流を重視、人を育てる事業である事、将来日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する事です。

【財源は全て皆様からのご寄付で成り立っています。】

1952年に東京ロータリークラブが奨学事業の構想を立案し、この時東京ロータリークラブが発表したのは海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学事業「米山基金」の構想でした。そこには二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという当時のロータリアン達の強い願いがありました。クラブ単独で始まったこの事業は、わずか5年でロータリーの日本全国の共同事業に発展しました。1967年に「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が設立され、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。奨学生一人に1つのロータリークラブが世話クラブとなり奨学期間中に奨学生は例会に出席し奨学金を受け取り、会員と交流します。さらに、世話クラブの会員からカウンセラーを選び日常の相談役を務めます。通常の例会以外にも、奉仕活動やいろいろな日本文化、花火や温泉、神社仏閣の紹介、他の会員との交流の場を設けるなどが大きな特徴と言えます。奨学生と接するにあたり、気を付けないといけないことは、ハラスメントです。ハラスメントの事例が発生した場合、公益財団法人として、関係者、関係団体からの信頼を失い、次の奨学生支援に影響を及ぼすこともあります。ロータリーは多様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、障害、宗教、信条、文化、性別、性的指向などあらゆる背景の人に平等に接し、性的マイノリティの人に対しても不信感を抱かせる言動はしてはいけません。

まとまらない話でしたがむすびに、将来の日本の生きる道は平和しかない、その平和日本を世界に理解させるためにはアジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそが日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか。と「ロータリー米山記念奨学会史」に記載されています。

米山記念奨学事業は約60年にわたって受け継がれてきた事業です。皆さん一人一人が良き理解者となり世界平和に努めて頂きたいと思えます。2024-2025年度大高年度の寄付目標額は普通寄付が一人当たり¥5,000以上、特別寄付が一人当たり¥20,000以上です。2023年度は寄付金総額14億4568万円で事業費額は14億4012万円内奨学金が全体支出の約97%で残りが補助金及び管理費となっています。2024-2025年度の2820地区では新規奨学生27名、継続奨学生が6名です。中国が6名、ネパールが4名、スリランカ・モンゴルが各3名、韓国・ベトナム

が各2名、インド・インドネシア・ガーナ・キルギス・台湾・トルコ・メキシコが各1名と以前は片寄った年もありましたが、今は様々な国々からの留学生を支援しています。会員の皆さんの特別寄付（20,000円）以上のご協力をお願い致しまして、卓話を終わります。ご静聴ありがとうございました。